

様式1

令和3年度 年度事業評価書

評価対象期間	令和3年4月～令和4年3月分
施設名	鹿野ふるさと加工所
指定管理者名	株式会社ふるさと鹿野
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設所管課名	農林水産部農政企画課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課			
	自己評価	評価	確認方法	備考	
I. 公共サービスの実施状況					
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	書類・聞取り		
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書類・聞取り		
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	書類・聞取り		
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞取り	外部利用は無し。	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	書類		
6 減免対象者は、適切に減免しているか			聞取り	該当無し。	
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	3	3	書類・聞取り	地域のイベントへの参加。	
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	聞取り	外部利用者が無いため満足度調査は実施していないが、商品納入先で聞取りをし不備箇所は随時改善。	
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞取り		
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	3	3	書類・聞取り		
II. 施設の維持管理の実施状況					
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	書類		
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	書類		
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	書類		
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞取り		
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	聞取り		
III. 施設の経営状況					
16 事業収支は妥当であるか	2	2	書類・聞取り	赤字決算となった。	
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	書類・聞取り	適正に行っている。	
IV. 法令等の遵守状況					
18 個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	現地確認		
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	書類・聞取り	滞納無し。	
20 労働関係法規（労働基準法、労働安全衛生法、食品衛生法など）を遵守しているか	適切	適切	書類・聞取り		
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	書類、現地確認		

V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	聞取り	インターネットを活用し情報発信している。
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	3	3	聞取り	
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	書類	
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か	3	3	書類・聞取り	
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	書類・聞取り	適切に行っている。

2. 指定管理者の経営状況に対するコメント

指定管理者	<p>コロナ2年目となり核となる施設山紫苑は利用者の回復が見られず、6月2月3月と延べ40日休館を余儀なくされた。利用者は全体で例年35%に留まる。鳥取市より色々支援をいただくが売り上げは伸びず昨年に続き大幅な赤字計上となった。一方、温泉館はコロナに対する誘客支援事業のWe Love山陰キャンペーンが年間通し実施され、利用者は例年以上に増加し、昨年に続き大幅な黒字計上となった。そば道場は雇用調整助成金により昨年に続き黒字計上となったが、誘客支援事業はあったものの利用者は例年までの回復には至らなかった。おもしろ市場は商品不足や道の駅気楽里との関係もあり赤字となった。そば処も利用者が回復せず赤字計上となった。加工所は商品製造を餅ときな粉のみに限定し、これまでの乾そばに鹿野そば粉6.5割と10割使用の半生麵を加えて販売したが、赤字の縮小には至らなかった。切花は盆・正月など繁忙期には利益確保が出来たが、その他の月ではマイナスとなり、3月の彼岸で最終的に利益を確保することができた。農業はスーパーなどこれまでの販売先の売れ行き不振で、JAなどに単価は安が大量に販売したことで昨年並みの売上となった。その他そば関係や運根も昨年並みの収入で、最終的には交付金が増加したことで連続4年目の黒字確保が出来た。鹿野往来交流館はコロナにより大人数のイベントが中止となる中、“三名城跡スタンプラリー”や地域資源をめぐるウォーキング、全国街道交流会議など色々な団体と連携した“森と海と里の”生業”に学ぶとっとりSDGsツアー”などのイベントや“昭和レトロ展”など館内展示を実施した。全体としてコロナの影響は大きく山紫苑などの赤字部門をその他の黒字部門で賄うことができず、今年度は16,142千円の赤字を計上する結果となった。</p>
施設所管課	<p>商品製造を餅ときな粉のみに限定した。その他、これまでの乾そば商品に鹿野そば粉6.5割と10割使用の半生麵を加えて販売したが、赤字の縮小には至らなかった。</p>

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	<p>令和3年度は、人件費など経費を最小限に留め、販売商品としてとち餅・白餅、黒豆きな粉を製造し、製造委託しているこれまでの乾そばに加え、新たに鹿野そば粉を6.5割と10割使用した半生麵を製造委託し、販売商品に加え販売していきました。半生麵は発売当は売り上げも上がりましたが、コロナにより主要販売先の道の駅等の観光客が減少し、その後の売上は思うほど伸びなかった。</p>
施設所管課	<p>乾そば商品に鹿野そば粉6.5割と10割使用の半生麵を加えた商品を販売し、売上は令和2年度と比べ増額となったが、仕入れ額も増額となり、令和3年度の販売状況では施設の収支が黒字とはならなかった。</p>

4. 総括コメント

指定管理者	<p>これまでの商品に新商品として半生麵を加えて販売していったが、売上は思うほど伸びず、事業を縮小して3年目になるが、これまでより赤字が膨らむ結果となり950千円の赤字計上となった。</p>
施設所管課	<p>乾そば商品に鹿野そば粉6.5割と10割使用の半生麵を加えた商品を販売し、売上は令和2年度と比べ増額となったが、仕入れ額も増額となり、令和3年度の販売状況では施設の収支が黒字とはならなかった。今後は商品製造部門を更に縮小する意向であるが、加工施設としてのあり方を見直す時期であると考え。</p>

確認方法	書類、聞取り、現地確認
------	-------------

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容であった。	(優秀)
	3	求める管理水準が適切に実施されている。	(普通)
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある。	(やや劣る)
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する。	(劣る)
	0	求める管理水準が遵守されていなく、不適切な管理運営がなされている。	(悪い)

【資料2】

施設名 鹿野ふるさと加工所

1. 施設利用者数

単位:人

項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績

2. 事業収支

単位:円

項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
商品売上	0	3,444,695	2,760,000	3,633,204	5,820,000	4,562,334	3,312,000	
雑収入		926		84,454	0	625	0	
受託料				273,401	0	0	0	
その他売上				0	0	0	0	
収入計(A)	0	3,445,621	2,760,000	3,991,059	5,820,000	4,562,959	3,312,000	0
支出計(B)	935,188	4,151,485	3,226,969	4,648,327	5,730,238	5,512,970	3,006,000	0
事業収支A-B	▲ 935,188	▲ 705,864	▲ 466,969	▲ 657,268	89,762	▲ 950,011	306,000	0